碇ヶ関地域の人口減少と道の駅いかりがせきの活性化 ―一般質問のポイントと質疑応答―

1 碇ヶ関地域の人口減少対策

碇ヶ関地域の人口の推移と将来推計



すでに2,000人を下回り危機的な状況

議員の質問（要旨）



- 加速度的な人口減少を食い止めるため、今後どのような戦略・取組を考えているのか。
- 移住・定住促進のため、碇ヶ関地域に限定した土地・建物の購入支援、空き家・空き地の利活用支援などの補助金・助成金を創設できないか。

市の答弁（要旨）（市長・総務部長）



- 人口減少は市全体の課題であり、一朝一夕に改善は困難。
- 第2期平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、「住みたい・産みたい・育てたい」と思えるまちづくりを推進。
- 碇ヶ関地域に特化した施の駅の創設は考えていないが、これまでの施策の継続に加え、新たな施策も検討していく。

2 道の駅いかりがせきの活性化

碇ヶ関地域の観光・交流・特産品販売の拠点として地域振興に重要な役割

道の駅いかりがせき（イメージ）




直売所（地域の特産品）


レストラン（地域の食材）


イートインコーナー

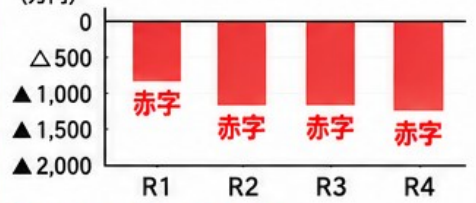

文化観光館


碇ヶ関関所


御仮屋御殿

3 碇ヶ関開発株式会社の経営状況

営業利益の推移（過去4年間）



赤字の主な要因

売上総損益を上回る販売管理費

- 人件費
- 仕入れ費
- 光熱費
- その他経費

議員の質問（要旨）



- 過去4年間赤字が続いているが、黒字化のために市はどのような取組を考えているのか。
- 黒字化できない最大の課題は販売管理費にある。これを低減するための取組を考えているのか。

市の答弁（要旨）（市民生活部長）



- 経営状況の改善が必要であると認識している。
- 人件費の抑制、仕入れルートの見直し等による原価率の縮減に努めているが、来客増への対応や物価高騰により、販売管理費の低減は進んでいない。
- 今年度は来客数が回復しつつあるが、現状では営業利益の確保は厳しく、引き続き協議を継続する。

4 イベント減少と集客力の強化

議員の質問（要旨）



- 旧碇ヶ関村時代の祭り・行事・芸能や、ゆうえい館・たけのこの里などの施設がなくなり、集客が減少したことが人口減少の一因ではないか。
- 補助金だけでなく、道の駅を拠点としたイベントの増加や情報発信により、集客数と売上を増やすべきではないか。



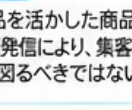
市の答弁（要旨）（市長）



- 例年、7月の「I♡CURRYヶ関カーニバル」と10月の「碇ヶ関紅葉と収穫祭」を開催している。
- これに加え、新たなイベントの企画を検討し、地元団体や若手メンバーと相談しながら実現に向けて取り組む。
- SNS等を積極的に活用し、市観光協会と連携して情報発信を強化する。

5 売上向上の取組（商品・情報発信）

議員の質問（要旨）



- 地域の特産品を活かした商品の充実や効果的な情報発信により、集客数の増加と売上アップを図るべきではないか。



主な取組（市の答弁）



- 自然薯・マルメロ・根曲がり竹など地域の特産品を使った食の提供や商品化による差別化。
- ホームページのリニューアルなど、市の補助金を活用。
- SNS等を活用した情報発信の強化。
- 新年度に配置予定の地域プロジェクトマネージャーを含め、市と市観光協会が連携し、課題の洗い出しと改善に向けた取組を支援する。



6 財政支援・資金繰り

議員の質問（要旨）



- 運転資金不足対策として、市の事業活性化資金特別保証制度を活用できないか。
- 令和2年度に借入れた6,000万円の返済期限及び返済計画はどうなっているか。

市の答弁（経済部長）事業活性化資金特別保証制度

- 対象：市内中小企業者
- 貸付額：1企業 2,000万円以内
- 貸付利率：年 1.8%以内
- 資金使途：運転資金・設備資金
- 活用の可否は、金融機関の審査により判断される。

市の答弁（市民生活部長）長期借入金 6,000万円の返済計画

- 日本政策金融公庫から新型コロナ特別貸付けの返済猶予の申出があり、「令和5年1月に借換え。
- 償還期限：令和20年10月31日
- R5.2～R7.12：利息のみ（年間約49万円）
- R8.1～：元金償還開始（年間約557万円）

7 管轄部署と連携体制

議員の質問（要旨）



- 観光施設一覧を担う道の駅の運営は、専門部署である経済部商工観光課が管轄すべきではないか。

市の答弁（副市長）



- 合併当初から観光関連業務は碇ヶ関総合支所が所管。
- 道の駅の営業状況に精通していることから、引き続き所管。
- 4月から、市・市民生活部長・経済部長・商工観光課長・碇ヶ関総合支所長が参加する経営会議を月1回開催し、活性化・経営改善に向けた議論を行う。

8 備品等の購入支援

議員の質問（要旨）

市の答弁（市民生活部長）



- 営業活動に必要な市の施設であり、必要な備品は購入等・設置を行っている。
- 今後も会社と協議の上、必要な備品を市が購入し、対応していく。

9 今後の方向性（まとめ）

- ☑ 人口減少に歯止めをかけるための施策の継続・強化
- ☑ 道の駅を拠点としたイベントの充実と情報発信の強化
- ☑ 地域特産品を活かした商品の充実と売上向上
- ☑ 販売管理費の低減と経営改善への支援
- ☑ 関係部署の連携による定期的な経営会議の開催
- ☑ 必要な備品の購入支援の継続

地域のにぎわいを取り戻し、持続可能な碇ヶ関地域を目指す